



X E A M
ELECTRIC MOTORCYCLE



SUPER
SOCO

TS *STREET HUNTER*

TS PRO
STREET HUNTER

取扱説明書

Ver.01
2024年4月発行

安全に関する注意事項

安全を確保するため、乗る前にこの取扱説明書を注意深く読み、常に以下の要件に従っていることを確認してください。

- ❶ この取扱説明書の情報をお読みください。これらは取扱いに関連する手順、注意事項、警告を含みます。
- ❷ 車体の操作とトラブルシューティングをよくお読みください。
- ❸ 車体に貼り付けられた警告ラベルの内容に十分注意してください。
- ❹ 車輛や部品を無断で分解しないでください。交換や購入が必要な場合は、販売店にお問い合わせください。
- ❺ この取扱説明書は適切に保管してください。



この車両のすべてのパラメーターは、工場出荷の際、国の標準規格に従い設定されています。
改造を施した車両に関して、当社は責任を負いません。

ユーザーインストラクション

安全を確保するために、乗車前にこの取扱説明書を注意深く読み、以下の要件を順守していることを確認してください。

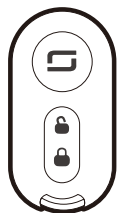
- ❶ 該当免許を所持しない人に車両を貸さないでください。
- ❷ 走行車線を守って運転し、法定速度を守って運転してください。
- ❸ この車両を運転するときは、運転免許証を持っていることを確認して、運転免許証なしで運転しないでください。

- ④ 運転に影響を与える可能性のある薬物を服用した後や、肉体的に気分が悪いときは運転を控え、アルコールを飲んだ場合は運転をしないでください。
- ⑤ 法律や交通規制、交通標識を順守し、周囲の状況をよく確認し、危険を積極的に回避してください。
- ⑥ 雨や雪の場合は、制動距離が長くなります。速度を落としてください。
悪天候の状態ではできるだけ運転を控えてください。
- ⑦ ヘルメットや手袋などの安全装備と、必要に応じて適切な保護具を着用してください。
- ⑧ 安全を確保するために、適切にライトを使用してください。ハイビームを継続して使用すると、対向車線側の車両や歩行者に視覚障害を与える可能性があります。
- ⑨ 次の項目に注意してください。
 - a. 建造物のロビー、避難階段や通路、建造物の出入口に駐車しないでください。
 - b. 充電が完了して充電器を差したままにしないでください。
充電時は可燃物から遠ざけ充電完了後は速やかに充電器を取外し下さい。
 - c. バッテリーの警告ラベルに注意して正しく使用してください。
バッテリーは許可なく分解することは出来ません。
 - d. 充電器の安全の指示と警告ラベルに注意して正しく使用してください。
充電器を交換するときは当社指定の充電器を使用してください。
 - e. 水洗いに関する注意事項をよくお読みください。
- ⑩ 乗車前に、以下の内容に異常がある場合は修理のため、販売店にご相談ください。
 - a. 電源が正しく起動し、ライト類が適切に作動するか確認してください。
 - b. 前後のブレーキが適切に作動するか確認してください。
 - c. ハンドル、前後輪にガタがないか確認してください。
 - d. タイヤの空気圧は適切か確認してください。

走行を開始する前に

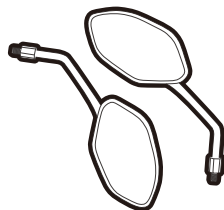
- 01 -

同梱品の確認



×2

リモート
コントロールユニット



×1

バックミラー R/L



×1

ユーザーマニュアル



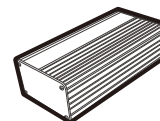
×2

鍵



×1

スパナ

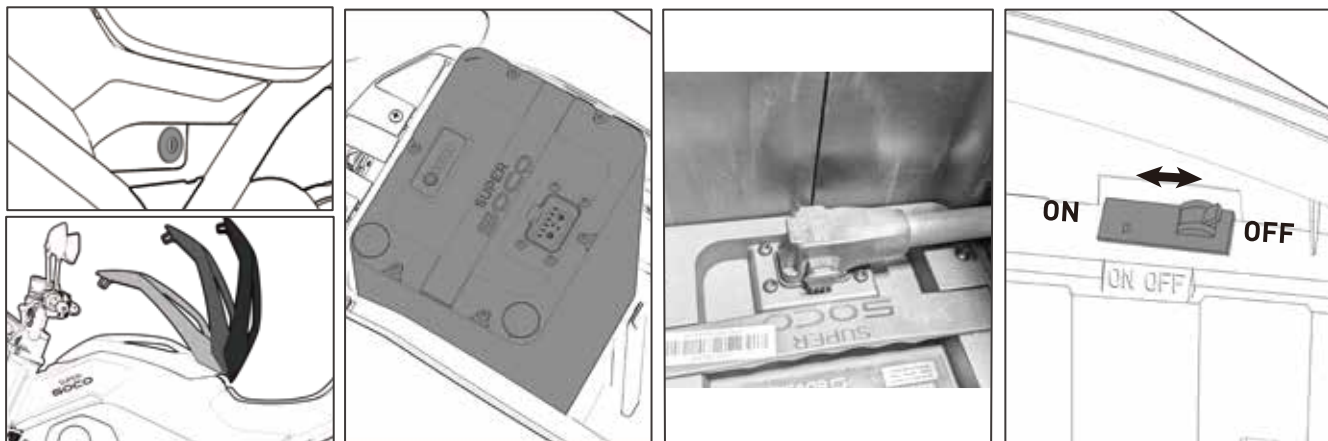


×1

充電器

- 02 -

バッテリーの取り付け

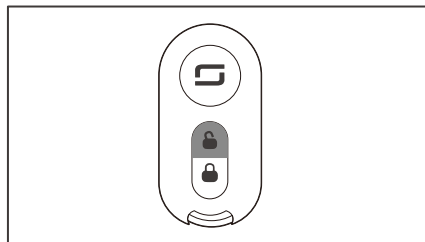


- ① キーシリンダーへ鍵を挿しロックを解除、ストレージカバーを開きます。
- ② ストレージボックスへバッテリーを入れます。
- ③ 電源プラグを接続します。
- ④ ブレーカーをONにし、カバーを元に戻し、ストレージカバーを閉じます。

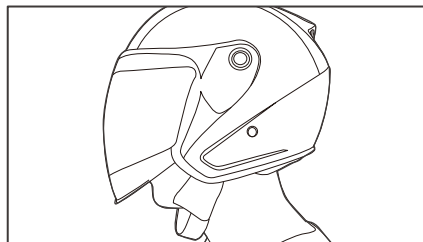
※①のロック解除とストレージカバーの開き方はP13を参照ください。

走行を開始する前に

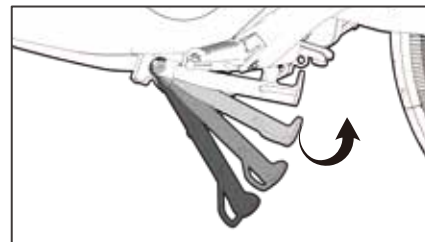
走行手順



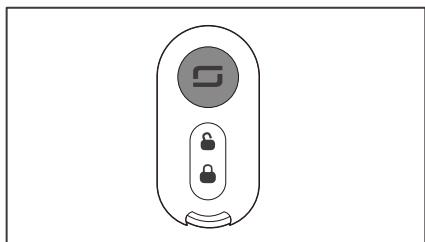
- ①** リモコンの「ロック解除ボタン」を押します。



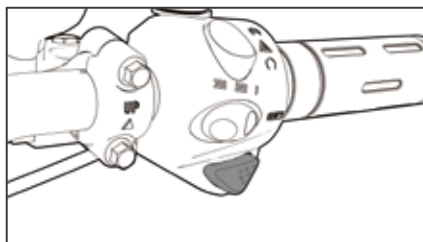
- ②** ヘルメットを被り、あごひもを締めます。



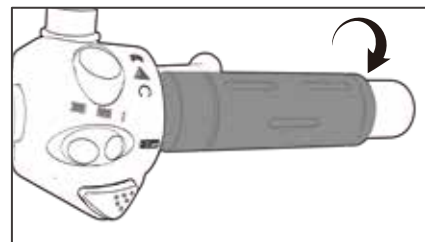
- ③** 車両を起し、サイドスタンドを上げ乗車します。



- ④** パワーボタンを押して、電源を入れます。



- ⑤** スタートボタンで駐車状態を解除し、ブレーキレバーを握り、READYランプを点灯させます。



- ⑥** アクセルをゆっくり回すと走行を開始します。

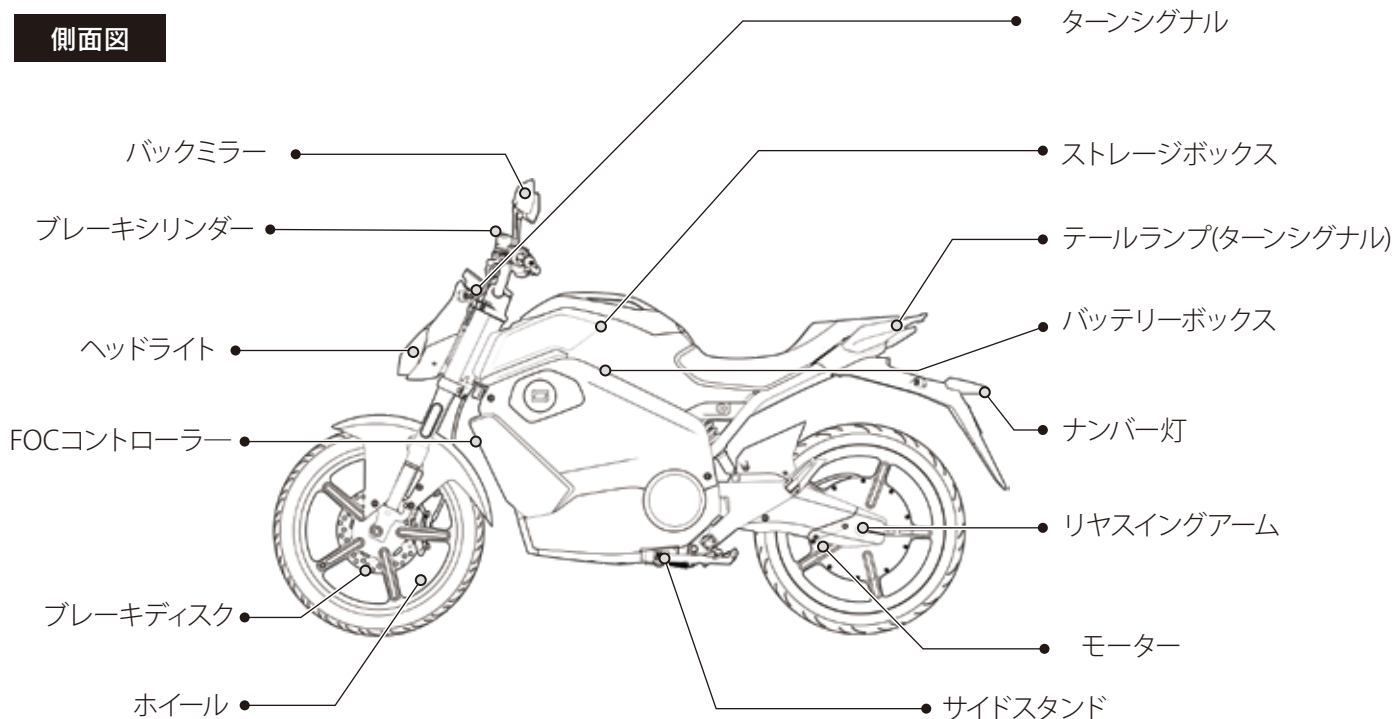
目次

コンポーネントとパーツの説明	07
操作ガイド	10
走行に関する項目	15
バッテリーに関する注意事項	17
メンテナンス	21
FAQ & トラブルシューティング	22

コンポーネントとパーツの説明

説明図

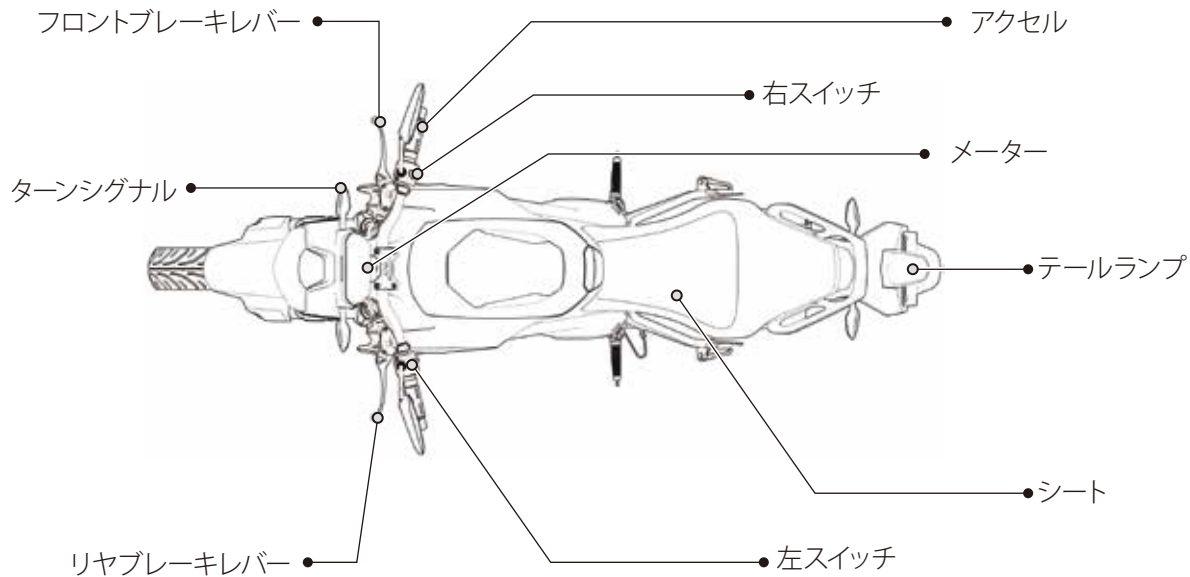
側面図



コンポーネントとパーツの説明

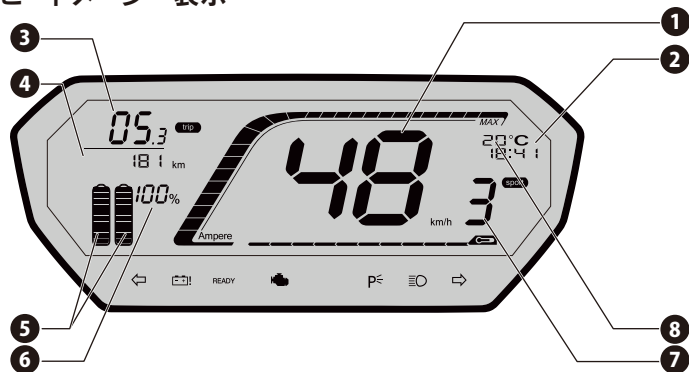
説明図

上面図



コンポーネントとパーツの説明

スピードメーター表示



range 想定走行可能距離 **trip** 現在の走行距離 **rpm** 回転数

アジャストモードへの切り替え

- 4 秒以内にヘッドライトの切り替えスイッチを連続 3 回切り替えると、現在の表示モードが点滅します。
- この時点で、現在の表示モード(range/trip/rpm) が点滅し調整モードに入ったことを示します。

表示モードの切り替え

- アジャストモードをオンにし、ヘッドライトの切り替えスイッチを操作することで表示(range/trip/rpm) を切り替えます。
 - モード循環させ選択します。
- ※ 選択後、ヘッドライトの切り替えスイッチを、上下に 6 回連続して操作することにより、Tripのリセットを行うことが出来ます。

ディスプレイユニットの切り替え (km/h 及び mph)

- サイドスタンドを収納しアジャストモードを有効にした後、スタートボタンをオフ(Pインジケータ点灯)。
- 2 秒以内にスタートボタンをオン・オフと切り替え、表示単位 (km/h と mph) を切り替えます。
- 2 秒以内に、スタートボタンをオン・オフと切り替えると、LCDバックライトが点灯します。(明るさは最も明るいレベルに固定されています)

- 1 スピード**
現在の速度を表示
- 2 時計**
日本未対応
- 3 レンジ/トリップ/回転数**
表示項目を切り替え可能
- 4 総走行距離**
総走行距離を表示
- 5 バッテリー残量表示バー**
A,Bのバッテリー残量を表示
- 6 バッテリー残量表示**
A,Bのバッテリー残量を%表示
(バッテリーBはオプション)
- 7 走行モード表示**
(選択されたモードを表示)
- 8 温度表示**
現在の気温を表示

解説

- eco** エコモード…スイッチ位置『1』
- normal** ノーマルモード…スイッチ位置『2』
- sport** スポーツモード…スイッチ位置『3』

- エラー発生時点灯 充電中 データ接続時点灯
- ハイビームインジケータ…ハイビームオンの時点灯
- パーキングインジケータ…パーキングスイッチ作動時点灯
- ターニング信号インジケータ…インジケータランプの点滅に合わせ点灯

バッテリーエラー

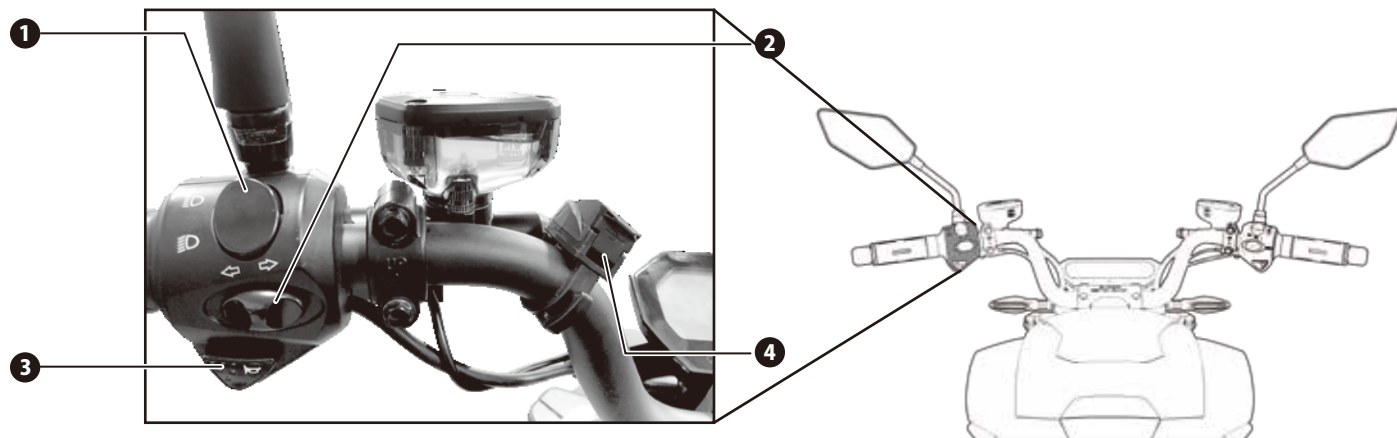
READY モーターが回転できる状態の時点灯

OBDチェック…

このランプが表示された場合は、P24からのFAQ&トラブルシューティングを参照してください。

操作ガイド

左スイッチ



① ヘッドライト、ハイ/ロービーム切替スイッチ

上に押すとハイビーム(≡O)、下に押すとロービーム(≡O)になります。
このハイ/ロー切替スイッチを以下の手順で、ゆっくり3往復すると、表示モードの切替ができます。(※P9を参照ください)

② ウィンカースイッチ

左へ操作すると左側ウィンカーが点滅し、
右へ操作すると右側ウィンカーが点滅します。
消灯する場合は中央に戻します。

③ ホーンボタン

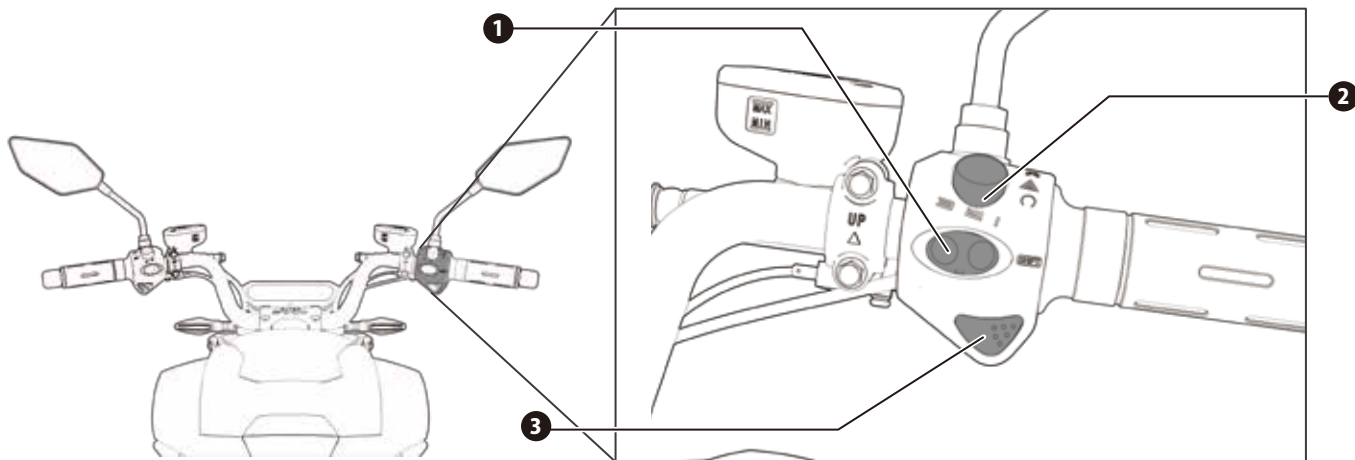
押すとホーンが鳴ります。

④ USBポート

キーONで通電します。

操作ガイド

右スイッチ



① 走行モードスイッチ※

以下の3つのモードを選択できます。
1:エコ / 2:ノーマル / 3:スポーツ

※モード変更は、停止時かそれぞれのモードで出せる速度以下になってから変更してください。スピードが高いまま操作すると車両の故障もしくは点灯など重大な事故につながる恐れがあります。

② ハザードスイッチ

ハザードランプが点滅します。

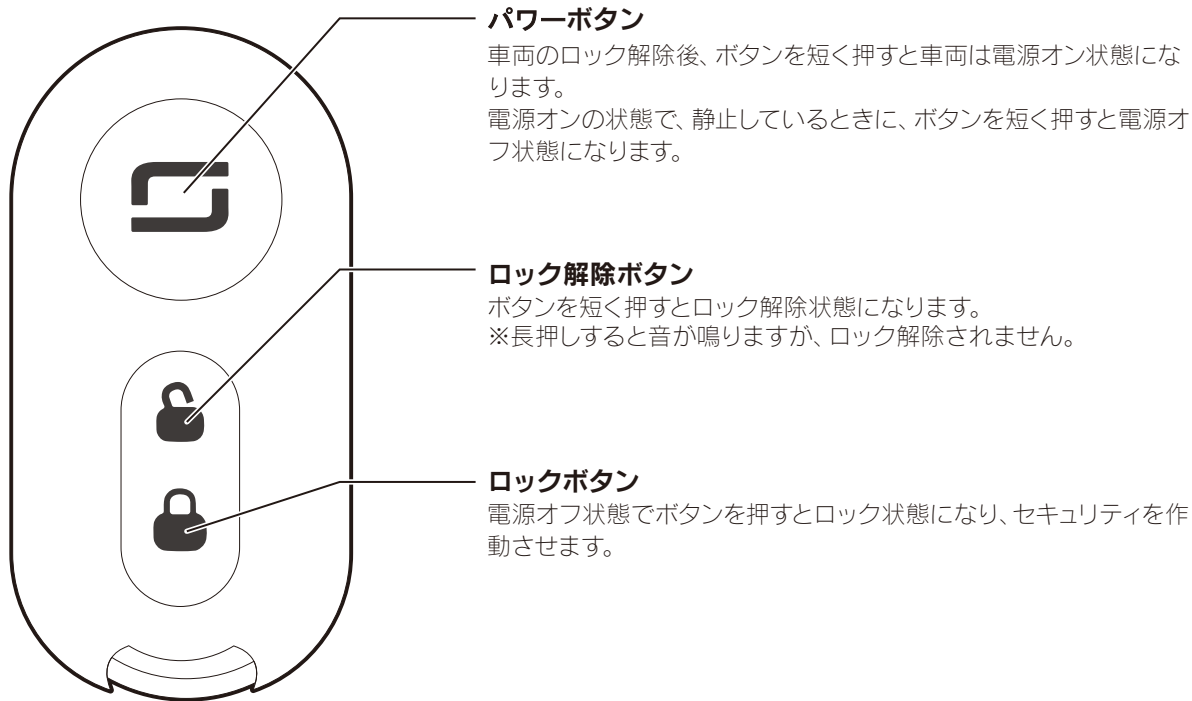
③ スタートボタン

ボタンを押すごとに、駐車状態と走行状態が切り替わります。
駐車状態を解除し、ブレーキレバーを握ると、メーターのREADYランプが点灯して走行可能な状態となります。

操作ガイド

リモートコントロールユニット

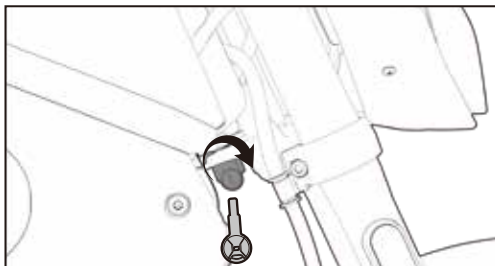
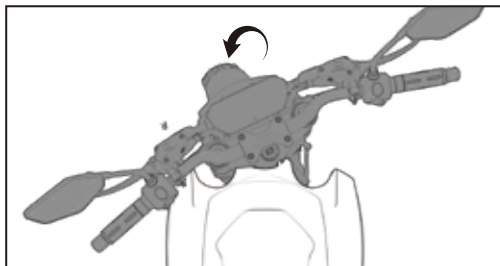
有効距離内でボタン操作を行うことで、車両を簡単にロックまたはロック解除できます。



操作ガイド

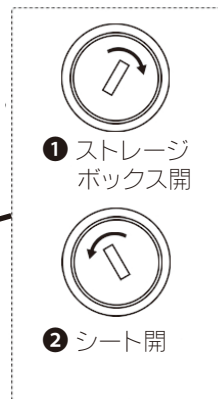
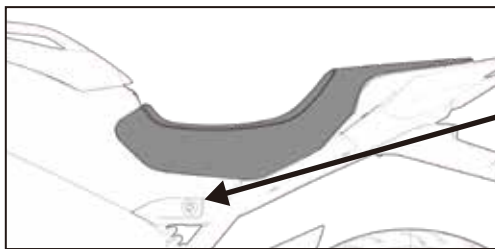
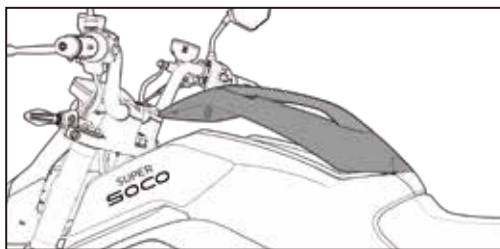
ハンドルロックの方法

- ① オートバイを停車します。ハンドルを左に切ったのち、ハンドルロックのキーシリンダーに鍵を挿し、右に回転させてロックします。
- ② ハンドルロックのキーシリンダーに鍵を挿し、左に回転させてロックを解除します。



ストレージボックスとシートの開け方

- ① サイドキーシリンダーに鍵を入れて右に回し、「カチッ」という音が聞こえたらストレージを開きます。
- ② サイドキーシリンダーに鍵を入れて、左に回し、シートを開きます。



操作ガイド

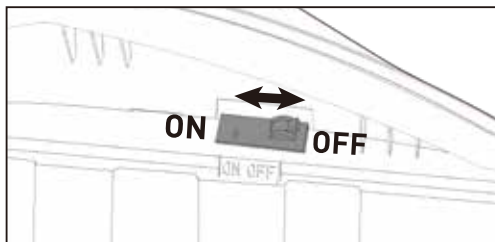
ストレージボックスの閉め方

- ① 静かにストレージボックスを閉めます。
- ② ストレージボックス前方を「カチッ」とロックが掛かるまで押さえます。



ブレーカー操作

回路および各部品保護のため、ショートし過大電流が流れた際に自動でOFFにします。
ブレーカー作動後は、手動でONの位置に戻す事が可能です。



重要

安全を確保するため、清掃、オートバイの長期保管、またはバッテリーの取り外し、取付の際は、ブレーカーを「OFF」の位置にしてください。

走行に関する項目

乗車前点検項目

乗車前に下記項目の点検を実施してください。

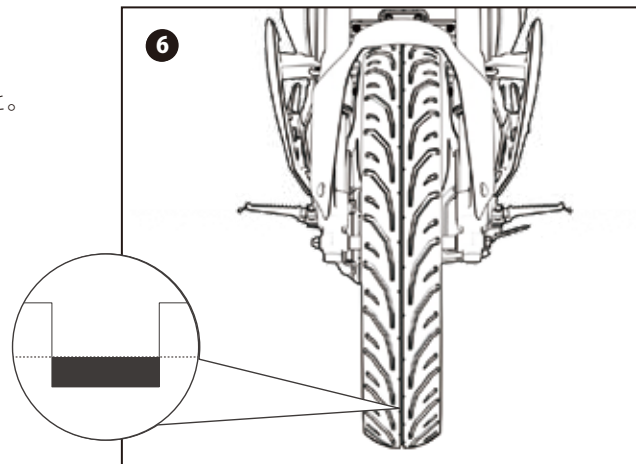
- ① ハンドルがしっかり固定され、左右に転舵してもスムーズに動くこと。
- ② 左右のハンドルスイッチがきちんと作動すること。
- ③ アクセルがスムーズに回り、きちんと作動すること。
- ④ タイヤの空気圧を確認すること。

規定空気圧は、「1名乗車…(前)175kPa / (後)200kPa」「2名乗車…(前)175kPa / (後)225kPa」

- ⑤ タイヤ表面をチェックし、ひび割れ、損傷、異物の噛み込みがないこと。
- ⑥ タイヤの溝深さが十分残っていること。ウェアインジケータの高さまで摩耗している場合は交換が必要です。

※タイヤ側面の「△」マークのウェアインジケータ(摩耗限度表示)のトレッド面で確認する。

- ⑦ 電源ONの状態ですピードメーター内に警告灯の点灯有無を確認すること。
- ⑧ 目的地までに必要なバッテリー容量があるか確認すること。
- ⑨ 灯火器が正しく機能するか確認すること。
- ⑩ ホーンが正しく機能するか確認すること。
- ⑪ ミラーの清掃、視界の調整を行うこと。
- ⑫ ブレーキオイル量及びブレーキシテムが正常に作動しているか確認すること



ご不明な点や異常がございましたら、お近くの販売店にお問い合わせください。

走行に関する項目

警告：

- ① 車両を移動する前に、サイドスタンドが上がっており、ハンドルロックが解除されていることを確認してください。
また、サイドスタンドを出した状態でステップ上で立ち上がらないでください。スタンドの破損や転倒等の危険があります。
- ② 走行中に「スタートボタン」を押さないでください。
走行不能になることに加え、モーターに負荷が掛かり、非常に危険です。
- ③ 始動するには車両が完全に停止している必要があります。走行中に異常が発生した場合は、速やかに道路脇に停止してください。危険を避ける為、走行中に電源を OFF にしたり再起動しないでください。非常に危険です。

乗車時の注意事項

- ① スタートする際は、急加速による過度の電流消費を回避する為に、ゆっくり加速してください。
- ② 安全な運転の為には一定の速度を保ち、頻繁な急発進、急ブレーキ、急加速などを行わない事が重要です。
- ③ 本製品の最大耐荷重は 150kg です。過負荷は車両と走行に悪影響を与えます。
※原付 2 種の積載荷重は 60kg です。
- ④ 意図しない車両の発進事故を防ぐために、車両を押しなから移動する際は電源を入れずに移動してください。
また乗車するまでパーキングモードを解除しないでください。
- ⑤ 駐車中は電源を切り、ハンドルロックで施錠してください。

バッテリーに関する注意事項

バッテリーと充電器を接続。充電器のインジケータが消灯していることを確認。
最後に充電器のプラグをコンセントに挿しこみます。

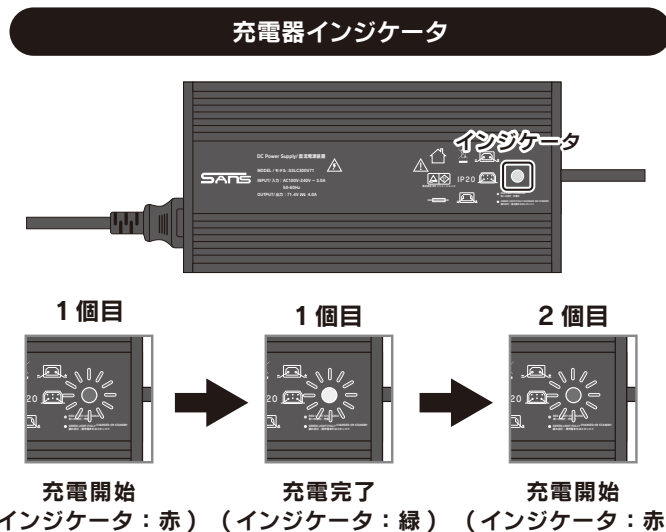
バッテリーを車載したまま充電をする場合

- ① 2つのバッテリーを同時に充電する場合、「**充電残量の多い方から充電**」します。
 - ② はじめに充電を開始したバッテリーが満充電になると、いったん充電器のインジケータが赤→緑になります。
 - ③ その後1～5分後、充電器のインジケータが緑→赤に変わり2個目のバッテリー充電が始まります。
- ※充電器は10時間連続で充電すると一旦停止します。コンセントを抜き、冷却後再度接続して充電を再開してください。
- ☆ Proシリーズは残量が少ない方から充電し、各バッテリーを順次交互に充電を行います。 ☆

重要

1→2個目の充電開始前に充電器を取り外すと、充電器のライトが赤と緑で点滅し、充電を再開しません。
その場合、2個目のバッテリーに充電する方法は、充電器をバッテリーに直接接続する事になります。

外部充電ポート

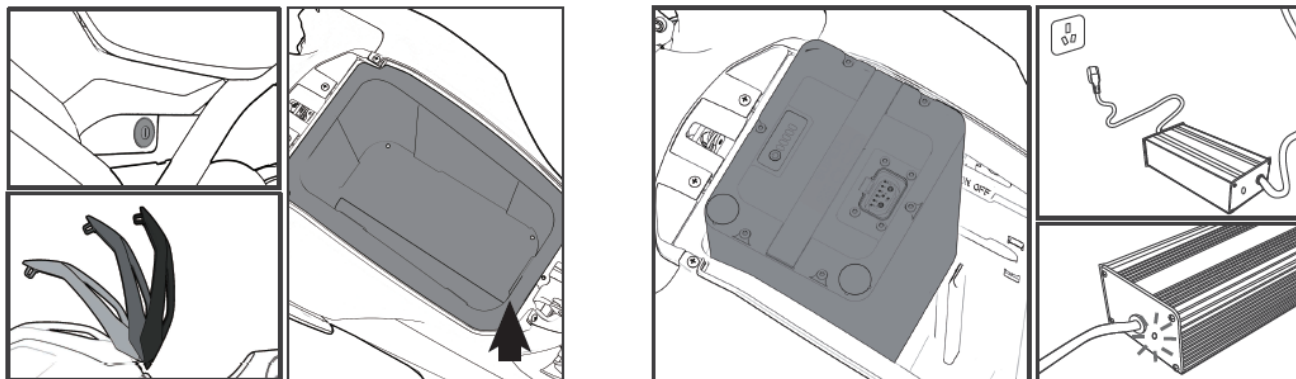


※1～5分かかります。 ※この間で充電器を抜かないでください。

バッテリーに関する注意事項

バッテリーを取り外して充電をする場合

- ① キーシリンダーへ鍵を挿しロックを解除して、ストレージカバーを開きます。
※ストレージカバーの開け方は P13 を参照ください。
- ① インナートレーを外しストレージボックスからバッテリーを取り出します。
- ③ バッテリーを車載したまま充電をする場合 (※) の②～③と同様の手順で充電します。(※P19 参照)



警告：

- ・ 子供、火、熱源から遠ざけてください。
- ・ 充電作業温度：0～55℃、放電作業温度：-20℃～60℃
- ・ バッテリーは使用時に充電する必要があります。長期間使用しない場合は、必ず車から取り外して保管してください。
- ・ 激しい振動、衝撃、圧迫をバッテリーに与えないでください。
- ・ 指定の専用充電器を使用する必要があり、他の充電器でバッテリーを充電することは固く禁じられています。
- ・ バッテリーと充電器は工場出荷前に厳重に検査されており、分解などは絶対にしないでください。
- ・ バッテリーを水にさらさないでください。また、バッテリーに強い衝撃を加えないようにしてください。
- ・ 水または雨によるバッテリーの入力端子と出力端子の+と-の端子を短絡することは固く禁じられています。

バッテリーに関する注意事項

1 バッテリー・2 バッテリー搭載時のメーター表示

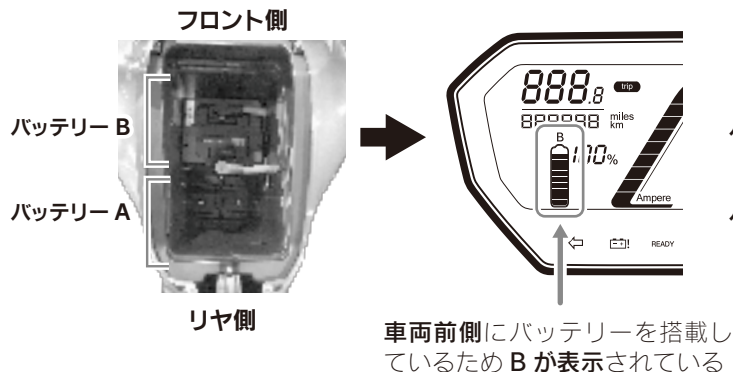
1 バッテリー搭載時

- ・ バッテリー残量は **1 個のみ表示** されます。
- ・ 車両後側がバッテリー A を表示し、車両前側がバッテリー B を表示します。

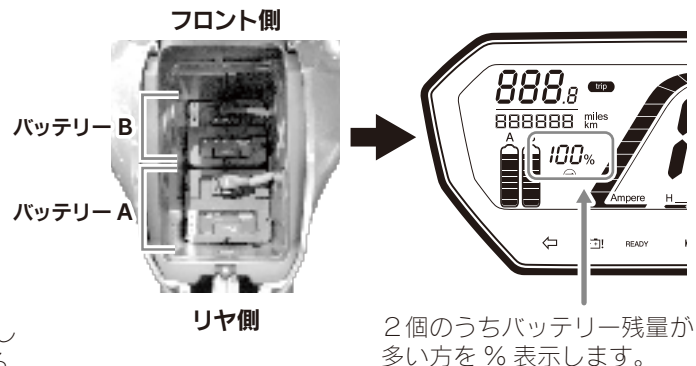
2 バッテリー搭載時

- ・ バッテリー残量は **2 個表示** されます。
- ※ バッテリーは交互に使用していきます。
- ※ 片方のバッテリー残量が 20% を下回るともう一方のバッテリーに切替えて走行し、バッテリー残量も表示が切り替わります。
- ※ 両方のバッテリーが残量 20% を下回ると両方のバッテリーを使用します。

1 バッテリー搭載時のメーター表示



2 バッテリー搭載時のメーター表示



3 ☆Proシリーズ ・ バッテリーは順次交互に使用します。残量 20% を下回るとパワー制御が作動します。

バッテリーに関する注意事項

保管、メンテナンス、輸送

- ① バッテリーを長期間保管するときは、バッテリーを車体から取り出し、50%程度充電します。
(バッテリーが空からの充電であれば1個あたり、5時間程度充電しインジケーターで確認)
保管は乾燥した換気の良い場所で行い、少なくとも2か月に一度は4時間ほどの充電を行う必要があります。
※保管時の過放電は、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- ② バッテリーと充電器は、清潔で乾燥した換気の良い場所で保管する必要があります。
腐食性物質との接触を避け、熱源から離し保管してください。
- ③ バッテリーの保管条件は、温度：0～25℃/湿度≤65%RH。
- ④ 感電を防ぐため、シングルバッテリーで使用する場合は、プラグをカバー等で覆ってください。

【重要】

※バッテリーを長期間使用せず完全放電した場合は保証対象外となる為ご注意ください。

メンテナンス

定期的なメンテナンスにより、車両の耐用年数と運転時の安全性を向上させることができます。

以下の内容を参考にして、車両を適切に管理してください。

点検とメンテナンス

購入後、1,000km または 1 か月 (いずれか早い方) に達したら、販売店で最初の点検とメンテナンスを行う必要があります。

購入後、3,000km または 6 か月 (いずれか早い方) 毎に、販売店で定期的な点検とメンテナンスを行うことをお勧めします。

購入後 5,000km または 1 年 (いずれか早い方) 毎に、販売店で定期的な法定点検を行わなければなりません。

使用部品は、VMOTO 純正部品を使用してください。

清掃と保管

きれいな水と中性洗剤を使用して清掃し、柔らかい布とスポンジを使用して表面を清掃してください。

部品の表面を傷つけないように、金属ブラシ、サンドペーパーなどを使用して清掃することは避けてください。

清掃後は柔らかい布で水分を拭き取ってください。

部品の錆びを避けるため、日光や雨への露出を避け、乾燥した換気の良い場所に駐車してください。

警告

- ① 清掃する前にブレーカーを OFF にしてください。
- ② 浸水による部品の故障を回避するため、高圧水を使用して直接洗浄しないでください。
- ③ 長期間使用しない場合は、劣化防止のために、ブレーカーを OFF にしてバッテリーを車両から取り外してください。
2 か月毎に 4 時間ほどバッテリーを充電してください。
- ④ 長期保管後は、十分に充電してからご使用ください。

FAQ & トラブルシューティング

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
電源が入らない 起動しない	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリーの接続不良2. ブレーカーが ON になっていない	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリーの接続確認2. ブレーカーを ON にする
電源を入れ、スロットルを回しても モーターが作動しない。	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリー残量の低下2. サイドスタンドが収納されていない3. パーキングモードがON状態4. ブレーキレバーが正しい位置に戻っていない5. スロットルエラー6. コントローラープラグが緩んでいる7. コントローラー故障	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリーを充電する2. サイドスタンドを収納する3. パーキングモードを解除する4. ブレーキレバーを正しい位置に戻す5. スロットルを交換する6. コントローラーを再接続する7. コントローラーを交換する
速度が出ない または走行距離が短い	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリー残量の低下2. タイヤが異常に潰れている3. 過積載4. ブレーキの作動に不具合がある5. バッテリーの劣化または不良	<ol style="list-style-type: none">1. バッテリーを充電する2. 空気圧の調整3. 適切な重量での運行4. ブレーキパッドを交換し、乗る前に ブレーキシステムを確認する5. バッテリーを交換する
バッテリーが充電できない	<ol style="list-style-type: none">1. 充電プラグの接触不良2. 指定外の充電器を使用3. バッテリーの劣化または不良	<ol style="list-style-type: none">1. プラグが正しい位置にあるかを確認する2. メーカー指定の充電器を使用する3. バッテリーを交換する4. 充電器の接続順を変更しプラグを挿す

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
エラーコード99表示	FOC・ECUコントローラーの通信エラー	FOC・ECUカブラの接続部を確認する。 MSソリューションズが販売店に連絡する。
エラーコード98表示	FOCコントローラーが作動停止している。 (過電流、モーター不良、電圧不足、過熱の可能性あります)	乗車を中止し、 しばらく待ってから再起動する。 MSソリューションズが販売店に連絡する。
エラーコード97表示	FOC・ECUコントローラ内の電気的エラー	FOC・ECUカブラの接続部を確認する。 MSソリューションズが販売店に連絡する。
エラーコード96表示	FOCコントローラ内のホールセンサーエラー	
エラーコード95表示	スロットルコントローラエラー	スロットル操作を行った状態で起動していないか確認する。 スロットルカブラの接続を確認する。
エラーコード94表示	バッテリーの通信エラー	バッテリーの接続部を確認する。 MSソリューションズが販売店に連絡する。
エラーコード93表示	充電中の過電流によるエラー	充電を中止し、充電器のインジケータを確認する。
エラーコード92表示	充電中の過電圧によるエラー	
エラーコード91表示	バッテリーの過熱によるエラー	充電または乗車を停止して、バッテリーの温度が下がってから再開する。

FAQ & トラブルシューティング

エラー事象	原因	対応
エラーコード90表示	過電流によるバッテリーの放電	常に90が表示される場合は、乗車を中止しMSソリューションズか販売店に連絡する。
エラーコード89表示	バッテリーの低温によるエラー	バッテリーを取り出して、温かい室内に移動して充電する。
エラーコード88表示	バッテリーの低温による放電	バッテリーと車輛を暖かい場所に保管し、しばらくしてから充電する。

FAQ & トラブルシューティング

バッテリートラブルからの回復方法

バッテリーの状態		原因	対応
使用前	車両がバッテリーを認識できず「電源」が入らない	バッテリー残量の低下	バッテリーの充電をしてください。
使用中に	バッテリー残量が少ない状態で走行する場合、バッテリー容量が10%を下回ると自動で電源オフになる。	バッテリー容量の低下により、低電圧保護回路が働く	バッテリーの充電をしてください。
	エラーコード88表示	バッテリーの低温による放電	バッテリーと車輛を暖かい場所に保管し、しばらくしてから充電する。
	エラーコード90表示	過電流によるバッテリーの放電	常にエラー90が表示される場合は、乗車を停止し、しばらくして再起動する。
	エラーコード91表示	バッテリーの過熱	充電や乗車を停止し、バッテリーの温度が下がってから乗車する。
	エラーコード94表示	バッテリーの通信エラー	バッテリーコネクタの状態を確認し、MSソリューションズまたは販売店に連絡する。
	夜間または1日後にバッテリーの容量が低下している。	CPU、コントローラー、セキュリティアラームがバッテリーを消費する	異常ではない。
	公式発表と走行距離に差がある	公式発表の走行距離は、特定の状況でテストされています。道路状況、天候、気温、風、積載重量などの影響を受けます。	ご不明な点はMSソリューションズか販売店に連絡してください。

FAQ & トラブルシューティング

バッテリーの状態		原因	対応
保管中	バイクが起動しない	バッテリーの保管時間が長すぎる、バッテリー残量が少ない、またはリモコンの電池が切れている	リモコンの電池を交換、またはバッテリーを充電。充電できない場合は、MSソリューションズまたは販売店に連絡する。
充電	エラーコード89表示	低温充電	バッテリーを取り出し、暖かい室内で充電する。
充電	エラーコード92表示	過充電	充電を停止し、充電器を確認する。
充電	充電中に充電器が過熱する	充電中は、充電器内の電流が大きく、熱を放出するため、充電器の金属ケースが熱くなる	異常ではありません。 通気の良い場所で充電器を使用してください。
バッテリー浸水	バッテリーを正常に使用できない、電動バイクを始動できない	水しぶき、水没、走行時の深い水たまりへの侵入により、バッテリー内部へ浸水する	使用を直ちに停止し、MSソリューションズまたは販売店に連絡する。
バッテリーケースの破損	バッテリーに衝撃を与えたり、落としたりすると、バッテリーケースに損傷や亀裂が発生する	使用するとバッテリーケースが損傷する	使用を直ちに停止し、MSソリューションズまたは販売店に連絡する。

基本仕様

製品名： TS STREET HUNTER(ティーエス ストリートハンター)	バッテリー定格容量： 2バッテリー： 1920Wh(60V32Ah)×2
クラス： 原付二種 ※AT小型限定普通二輪免許で乗車可能	1バッテリー： 1920Wh(60V32Ah)
バッテリー： リチウムイオン	定格出力(最大出力)： 1000W(3500W)
モーター： SUPER SOCO製	航続距離： ≥ 140km*2
車体寸法： 2038×780×1085(mm)	最高速度： ≥ 75km/h
車体重量： 116kg(2バッテリー時)*1	乗車定員： 2名
充電時間： 7～9h×2	製造国： 中国
製品名： TS STREET HUNTER PRO(ティーエス ストリートハンタープロ)	バッテリー定格容量： 2バッテリー： 1920Wh(60V32Ah)×2
クラス： 原付二種 ※AT小型限定普通二輪免許で乗車可能	1バッテリー： 1920Wh(60V32Ah)
バッテリー： リチウムイオン	定格出力(最大出力)： 1000W(5200W)
モーター： VMOTO製	航続距離： ≥ 140km*2
車体寸法： 2038×790×1085(mm)	最高速度： ≥ 85km/h*3
車体重量： 122kg(2バッテリー時)*1	乗車定員： 2名
充電時間： 8h×2	製造国： 中国

*1：バッテリーを含む総重量となります。(2バッテリー時)

*2：体重75kgのライダーが45km/hで定地走行した場合の数値となります。(2バッテリー時)

*3：1バッテリー使用時は最高速度75km/hになります、また 2バッテリー使用時でも、バッテリー残量が異なる場合は最高速度が75km/hとなります。

*各車両の航続距離は、お客様のご使用環境(気象条件・体重・勾配・運転方法・車両状態・装備など)によって、大きく変化致します。航続距離のカタログ値は参考数値としてお考え下さい。

お問い合わせ

バイクについてのお問い合わせ・ご相談は取扱店にお気軽にご連絡ください。

取扱店

TEL

製品についてお問い合わせ

XEAM
カスタマーサービス

TEL 092-292-5374 **MAIL** info_xeam@mssjapan.jp

受付時間 9:00-12:00 / 13:00-18:00 (月~金)

〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5丁目6-24 第6 ガーデンビル 6F
販売元：株式会社 MS ソリューションズ

XEAM 公式ホームページ：<https://www.xeam.jp/> | MS ソリューションズ公式ホームページ：<https://www.mssjapan.jp/>

メンテナンス スケジュール

		1,000km または 1ヶ月 (いずれか早い方)	3,000km または 6ヶ月 (いずれか早い方)	6,000km または 1年 (いずれか早い方)	9,000km または 1年半 (いずれか早い方)	12,000km または 2年 (いずれか早い方)
コンポーネント	作業内容					
全般	I	✓	✓	✓	✓	✓
ステアリング、操作系	I/E	✓		✓		✓
ステアリングベアリング	I/C/L	✓		✓		✓
電気系統	I	✓	✓	✓	✓	✓
ライト、スイッチ	I/E	✓	✓	✓	✓	✓
サーキットブレーカー	I	✓	✓	✓	✓	✓
ホイールベアリング	I/E			✓		✓
ホイール、リム	I	✓	✓	✓	✓	✓
タイヤ	I*			✓		✓
ブレーキ全般	I/C/E	✓		✓		✓
ブレーキオイル	E					✓
フロントフォーク	I	✓		✓		✓
リヤショックアブソーバー	I	✓		✓		✓
スロットル	I/L			✓		✓
メイン/サイドスタンド	I/C/E	✓		✓		✓
ベルト/ベルトホイール	I/C/E			✓		✓

I… Control (点検) E… 交換 C… 清掃 L… 給油 *Check: 溝深さ / 空気圧

【Controlについて】

機能が正しいか確認してください。清掃や給油の指示があれば追加で行わなければなりません。エラーや欠陥が検出された場合は、修復する必要があります。

※運行前点検は上記の表に関わらず行う必要があります。

メンテナンスレコード

日付	年 月 日	走行距離	
ノート			
販売店			

1ヶ月点検整備記録簿(電動車)

一輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 参照事項

- ※1 各変速モードで作動させ、うなり音等の異音の有無を確認お願いいたします。
- ※2 ステム緩み止めナットの状態確認要。
- ※3 タイヤ溝深さを確認。
- ※4 タイヤ規定空気圧→1名乗車…(前)175kPa/(後)200kPa
2名乗車…(前)175kPa/(後)225kPa

電動機点検

- 本体 _____
- 電動機の作動状態・異音の有無*1 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

- ハンドル _____
- 操作具合
- フロントフォーク _____
- 損傷
- ステアリングステムの取付状態*2
- ステアリングステムの軸受け部のがた

電気・保安装置点検

- 走行用バッテリー _____
- 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無
- スイッチ類 _____
- 灯火装置・方向指示器の作用
- ホーン・ハンドルロック装置の作用
- 計器の作用

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品/記事等

ブレーキ点検

- ブレーキペダル及びブレーキレバー _____
- 遊び ブレーキのきき具合
- ロッド及びケーブル類 _____
- 緩み・がた・損傷
- ホース及びパイプ _____
- 漏れ・損傷・取付状態
- リザーバタンク _____
- ブレーキ液の量

足回り点検

- ホイール _____
- タイヤの空気圧*3 タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ・異常な磨耗*4
- ホイールのボルト・ナットの緩み
- ショックアブソーバー _____
- 損傷・オイル漏れの有無

その他

- 外観樹脂パーツの損傷の有無

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +
 ※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____
 電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____
 操作具合
 ■ フロントフォーク _____
 損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____
 タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた
 ■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____
 連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____
 遊び ブレーキのきき具合
 ■ ロッド及びケーブル類 _____
 緩み・がた・損傷
 ■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____
 漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量
 ■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____
 機能・磨耗・損傷
 ■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____
 ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____
 本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無
 ■ 電気配線 _____
 接続部の緩み損傷
 ■ スイッチ類 _____
 灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒

定期点検整備記録簿 (電動車)

二輪車	該当なし	/	交換	×	締付	T
	点検	✓	修理	△	清掃	C
	分解	○	調整	A	給油	L

● 6ヵ月点検整備…… +
 ● 12ヵ月点検整備…… +

※納車時点検は6ヵ月点検に準ずる

電動機点検

■ 本体 _____

電動機の作動状態・異音の有無 低速・加速の状態

ステアリング装置点検

■ ハンドル _____

操作具合

■ フロントフォーク _____

損傷 ステアリングシステムの取付状態
 ステアリングシステムの軸受け部のがた

足回り点検

■ ホイール _____

タイヤの空気圧 タイヤの亀裂・損傷の有無
 タイヤの溝の深さ・異常な磨耗
 ホイールのボルト・ナットの緩み
 フロントホイールベアリングのがた
 リヤホイールベアリングのがた

■ サスペンションアーム _____ ■ ショックアブソーバー _____

連結部のがた・アームの損傷 損傷・オイル漏れの有無

その他

フレームの緩み・損傷 シャシ各部の給油脂状態

■ その他必要となった点検整備の内容及び主な交換部品 / 記事等

ブレーキ点検

■ ブレーキペダル及びブレーキレバー _____

遊び ブレーキのきき具合

■ ロッド及びケーブル類 _____

緩み・がた・損傷

■ ホース及びパイプ _____ ■ リザーバタンク _____

漏れ・損傷・取付状態 ブレーキ液の量

■ マスタシリンダ・ホイールシリンダ及びディスクキャリパ _____

機能・磨耗・損傷

■ ブレーキドラム及びブレーキシュー _____

ドラムとライニングのすき間
 シューの摺動部分・ライニングの磨耗

電気・保安装置点検

■ バッテリー _____

本体の損傷・ターミナル部の緩み損傷の有無

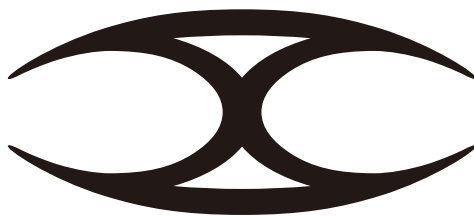
■ 電気配線 _____

接続部の緩み損傷

■ スイッチ類 _____

灯火装置・方向指示器の作用
 ホーン・ハンドルロック装置の作用 計器の作用

車両番号
初度登録年又は初年度検査年
車台番号
点検時の総走行距離
km
点検年月日
年 月 日
整備完了日
年 月 日
タイヤの溝の深さ
F mm R mm
ブレーキパッド残量
F mm R mm
点検又は整備を実施した者の氏名
印
住所
〒



X E Λ M

ELECTRIC MOTORCYCLE